

■ワークショップ 6■

哲学カフェの「ローカルさ」と「つながり」について考えよう

キーワード：哲学カフェ、地域、交流

山本和則（カフェフィロ）

現在では全国各地で哲学カフェが開催されるようになりました。それぞれの哲学カフェには場所によって様々なやり方や特色があると思いますが、たとえば大阪だったら話に「オチ」をつける参加者の方が多いなど、開催する地域や場所、または時間などに応じた「ローカルさ」が反映されている場合が多いのではないのでしょうか。それぞれの哲学カフェの「ローカルさ」にはどのようなものがあるのでしょうか。また、個々の「ローカル」な哲学カフェが地域をこえて、何らかの方法で「つながり」を持つことは可能なのでしょうか。（そもそも「つながり」は必要なのでしょうか。）今回はこれらのテーマについて哲学カフェ形式で考えます。各地で哲学カフェを開催されている方や、色んな地域の哲学カフェにご参加されている方、その他興味のある方なら誰でもお気軽にお越しください。

（やまもと・かずのり）

カフェフィロは「社会に生きる哲学」を探求し、それらの実現にあたりとともに、哲学とともに生きる人たちをサポートする団体です。